

2020年2月3日付 鋼構造ジャーナル

広島県鉄構工業会

「公共工事の設計見積もり」学ぶ

山本泰徳理事長が講演



山本理事長

広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳・ステントス社長）は1月21日、広島市内のホテルで「公共工事の設計見積もり」をテーマにセミナーを開催。山本理事長が講師を務め、同工業会が公共工事設計見積もりの有料化に至ったこれまでの経緯や導入以降の状況など

について解説した。

同組合の公共工事の設計見積もり有料化制度は開始から5年が経過し、県内外の設計事務所に制度の普及が順調に進んでいる。この時期に改めて設計見積もり業務に関する制度や実施状況についていっそう理解を深め、より良い制度運営や組合員の業務効率化につなげるためにセミナー開催の運びとなった。

山本理事長は現状の公共工事の策定方法として、そ

の大きな形式について説明。積算基準などによる設計金額の策定では、経済社会情勢の変化を勘案し、市場の労務費や資材等の価格など施工の実態を反映した積算が必要だが、実際は現状価格との乖離が大きい「建設物価本」が参考にされていることや、廃止になっ

方法、見積書の書式、物件難易度による見積もり算出方法について意見交換した。山本理事長は「見積もり業務の効率化や有料化の実施により、ファブという業界の認知度や地位の向上を目指し、次代を担う人たちが入職しやすい環境をつくりたい」と締めくくった。

また、当日は見積もり業務に関する質疑応答も行い、運送費や諸経費などの算出



「公共工事の設計見積もり」学ぶ